

## 潮流計観測結果の説明を行いました

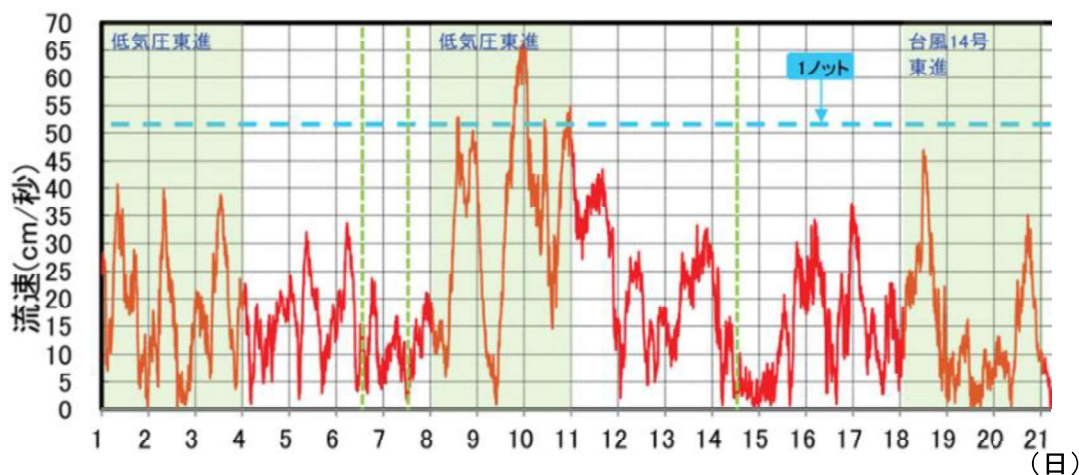
当センターでは、定置網漁業に大きな被害をもたらす「急潮」<sup>※1</sup>の発生予測精度を向上させるために毎年府内6ヶ所の定置網漁場に小型メモリー流速計を設置し、半年から1年にわたって流向・流速や水温等の観測を行っています。

今年は、4～5月に、御協力いただいている漁業者に昨年度の観測データの提供及び観測結果を説明し、当センターが発信している急潮情報<sup>※2</sup>の活用状況や急潮による影響を聞き取りました。

漁業者からは漁場毎の急潮の特徴や被害が発生しやすい気象条件等、様々なご意見をいただきました。今後は各漁場の特性に応じた予測精度の高い急潮情報を発信して更なる急潮被害削減に向けて取り組んでいきます。

※1 急潮:流速1ノット(約50cm/秒、水色線)を超える流速の潮。

※2 急潮情報:急潮による被害を防ぐために海況情報を基に急潮の発生が予測される期間を漁業者に発信するもの。



観測結果例(一部抜粋)と流向流速計(写真)

緑色の破線が急潮情報を発信した日、緑色の塗り潰しが急潮発生の予測期間です。